

1月21日の大雪による成田空港での混乱を受けた改善策について

機体の除雪

航空会社において融雪機4台の増配備について手当したほか、除雪時間の短縮手法、スポット外の除雪場所の確保等の除雪体制の強化について検討
(参考:成田空港の各社の融雪機保有台数は33台。なお、他空港の機材数は、千歳19台、羽田31台。)

ダイバート

スポット不足の状態では着陸が続き混乱が増加したことから、ダイバートを実施する方向で、その場合の前提条件について、関係者間で調整中

駐機スポット

除雪作業を実施したり旅客を降ろすための臨時的駐機スポットを確保する予定
また、スポット外での旅客の安全な降機方法について検討

運用時間

空港運用時間を延長したが、時間内に対応できないケースがあったため、あり方を検討

連絡体制

空港会社と航空会社間の緊密な連絡など関係機関間の連携・情報伝達の強化
(空港全体の状況について、関係者が一カ所に集まるなど迅速な把握を可能とする)

ターミナル内

食料・毛布等の備蓄を増強(非常食1万食、寝袋1万枚を確保。機内用毛布備蓄5000枚増強)
また、飲食施設の営業時間の延長等の緊急時の対応、体制の強化を要請する方針

交通手段

バス、タクシー等の臨時的交通手段の確保について、当日の要請では困難であることを踏まえ、関係者間で協議を予定

情報提供

遅延情報等の前広な提供について検討(マスコミを通じた広報、空港会社ホームページ等)
空港内での遅延、欠航見通しの正確、迅速な提供方策について関係者間で協議開始

降雪による影響及び対策強化に向けた検討について

I. 1月21日、22日の空港運用状況

1. 雪氷対策本部の設置

21日05:30～22日06:00

※除雪については前日から体制をとった。

2. 除雪の状況

積雪量：21日09:00時点 7cm、22日09:00時点13cm

滑走路の除雪・・・4回（A滑走路2回・B滑走路2回）

（内訳）

・A滑走路	21日	23:23～00:03
	22日	07:15～07:43
・B滑走路	21日	09:25～10:26
	22日	04:20～05:57

※構内道路については、適宜、除雪、凍結防止剤の散布を実施

3. 運用状況

- ・欠航便 162便（出発98便・到着64便）
内訳 21日 62便（出発50便・到着12便）
22日100便（出発48便・到着52便）
- ・翌日への遅延便 158便（出発98便・到着60便）
内訳 21日111便（出発81便・到着30便）
22日 47便（出発17便・到着30便）
- ・他空港へのダイバート便 41便（21日35便・22日6便）
- ・運用時間の延長 21日・・・22日02:32（23便（出発20便・到着3便））
22日・・・23日00:59（36便（出発30便・到着6便））

4. 滞留者 約12,500人

（内訳）

21日 約9,690人（第1PTB 4,550人・第2PTB 5,140人）

22日 約2,810人（第1PTB 290人・第2PTB1,740人・機内780人）

5. アクセス状況

両日とも大きな乱れもなく、支障なかった。

6. お客様への対応

滞留のお客様に対し、特別待合室の開放、飲食店等の営業時間の延長営業、弊社保管の非常食及び毛布の配布等を行った。

II. 対策強化に向けた検討事項

今回の降雪により多数の遅延・欠航便が発生し、これに伴って多くのお客様がターミナル内に滞留する事態が生じた。

この事態を深く受け止め、今後このような事態を出来る限り招かないよう雪氷対策を更に強化し、円滑な空港運用を推進するため、平成18年1月24日（火）社内に「雪氷対策強化検討会」を設置した。

当検討会において、今回特に問題となった次の事項について、関係者の協力を得て事実を検証し必要な改善策を検討することとした。

【メンバー構成】空港運用本部、空港事業本部の関係部長、広報室長及びIT推進室長

1. 除雪体制について

- ・ 成田国際空港航空会社運営協議会（以下「AOC」という。）と除雪の迅速化について協議開始

2. 到着航空機への対応について

- ・ ダイバート便の設定条件の整備等事前調整・・・ダイバートの前提条件をAOCと協議開始
- ・ 到着航空機からの旅客の降機対策・・・臨時駐機場所及び旅客の降機対策を東京航空局成田空港事務所及びAOCと協議開始

3. 滞留したお客様等への食事、毛布等の提供について

- ・ 非常食及び寝袋等の事前購入・・・約1万人分用意する（現在、非常食約8千人分、寝袋等約4千人分用意済み）。
- ・ 構内営業者への営業時間延長の強化対策・・・早期の情報提供により強化を図る。

4. 運用時間外のアクセスの確保について

- ・ JR、京成の運行延長・・・中期課題として関係者と調整を図る。
- ・ リムジンバス及びタクシーの運行延長・・・事前協議を行うとともに関係者と改善の検討を行う。

5. お客様へのインフォメーションについて

- ・ 運航計画が決まらない時点での対応・・・「NAAホームページ」、携帯サイト及び館内放送等の活用について検討
- ・ 運航計画が決まった時点での航空会社及び弊社の情報伝達システム・・・同上

6. 上記項目に係る関係者との連携、連絡協議のあり方について

- ・ AOC等関係者との連携、連絡協議のあり方の改善、また、情報の共有化方法を検討。

7. その他必要な事項について

- ・運用時間延長のあり方・・・弊社内部で検討を開始
- ・その他

問い合わせ先

成田国際空港株式会社

空港運用本部 安全推進部 鈴木、渡辺 (0476-34-5632・5633)